



答弁 記野教育部参事 市内の各小・中学校では、自分の任んでいるふるさと日野を通してさまざまな学びを深めています。将来の日野の担い手である子どもたちへの指導を関係部局や地域との連携をさらに図りながら進めていきたい。

質問 中島 平成20年策定の「日野市子ども条例」には、「いつの時代にも子どもは社会の宝であり、未来への希望、そして大人は、子どもの力を信頼し、ともに社会をつくっていきます」としてあります。子どもたちと地域がつながる取り組みは、地域の人々とともに総合的に推進していくことが、総合教育大綱の中で明らかにされました。この推進に当たって、子どもたちへのアプローチ、地元への思い出づくりについては。

答弁 米田教育長 地域の中に出て、そして地域を味わう。日常の地域の中の価値に気づく。そして、新たな地域づくりに入っていく。今、子どもたちは、学校から外に出て学ぶ、そういう時代になってまいりました。議員の趣旨に基づいて、それぞれの地域がそれぞれの地域の人脈でこの活動がさらに発展するように、私どもももしっかりと取り組む。

中島よしきの Pickup 活動報告

3月 一般会計予算特別委員会 委員長を経験
 予算額 615億1,000万円
 [前年度比3.1%増] **原案可決**

4月 所属会派の名称変更
 (4月1日)
 民主市民クラブ ▶ **市民クラブ**
※メンバーは変わらず

6月 6月定例会一般質問
 学校開放のチカラで実現するスポーツによる健康増進
 ~スポーツ無関心層を掘り起こすために~

Pickup **増え続ける空き家にストップ**
 2013年の日本の空き家数は830万戸、空き家率は13.5%と過去最高を記録。

	空き家総数	空き家率
東京都	817,100戸	11.1%
日野市	11,520戸	12.8%

日野市の住宅ストックの現状 資料：総務省統計局「平成25年住宅・土地統計調査」
 戸建て住宅数
 ↳ 32,240戸のうち、1,590戸(約4.9%)、20軒に1軒が空き家

空き家数の拡大は、住環境の悪化や行政コストの増大など様々な問題が生じる可能性があります。空き家対策議員連盟では、調査・予防・利活用の3つの柱を提言書にまとめ、その結果、市も問題解決のために計画と条例の策定に本格的に動き出しました。来年1月の条例施行に向けて準備が着実に進められています。(条例案は9月議会で上程予定)

未来につなぐ中島よしきの重点政策
「安心できるまち」の実現に向けて、
今後も空き家に対する取り組みを注視していきます。

【これまでの取り組み】
 2014年8月 超党派議員で空き家対策議員連盟を設立
 2015年6月 条例制定に向けた提言書を市長に提出



Pickup **地方創生とスポーツイベント**

- 2019年 ラグビーワールドカップ
- 2020年 東京オリンピック・パラリンピック
- 2021年 関西ワールドマスターズゲームズ (アジアで初めて開催)

2019・2020・2021年に奇跡的に連続して日本に訪れる世界規模のスポーツイベントは、単なるメガ・スポーツイベントの連続ではなく、日本がかつて経験したことのない人口減少・少子高齢化の時代を迎えるなか、地域の課題解決のためのチャンスと捉えています。地域にどう活かすかは、全国の自治体が考えるべき重要なテーマです。

Pickup **議会人事** **環境まちづくり委員会に所属することが決まりました。**
 (副委員長に就任)

環境共生部、まちづくり部、産業スポーツ部、農業委員会の所管に関する事項

そのほか、
 ▶ 議会運営委員会 委員 ▶ 都市計画審議会 委員

中島よしきの 重点政策 未来につなぐ

少子高齢化・人口減少が急速に進む中、地域で元気に暮らし続けることができるまちづくりを推進します。

- 1 健康長寿日野プロジェクトの推進
- 2 安心できるまちの実現
- 3 将来を見据えた財政運営